

## ギャラクシー賞大賞受賞 ケーブルテレビ初の快挙！ 中海テレビ放送が、報道活動部門大賞を受賞 ～ 長崎ケーブルメディアは、テレビ部門奨励賞受賞 ～

株式会社中海テレビ放送（鳥取県米子市、代表取締役社長：加藤典裕）が制作したドキュメンタリー番組「中海再生への歩み～市民とメディアはどう関わったのか～」が、第57回ギャラクシー賞報道活動部門の大賞を受賞いたしました。また、株式会社長崎ケーブルメディア（長崎県長崎市、代表取締役社長：峰利克）制作の「ながさき原爆記録全集 第56回 特別版」がテレビ部門の奨励賞を受賞いたしました。

ギャラクシー賞は、NPO 放送批評懇談会が日本の放送文化の質的向上を願い、優れた番組・個人・団体を顕彰するもので、1963年に始まり今年で57回目を迎えました。テレビ部門をはじめ、報道活動部門、ラジオ部門、CM部門の4部門から成り、放送業界では最高峰の賞のひとつとされています。ケーブルテレビ事業者の大賞受賞は、57回の歴史で初の快挙となります。

◆「中海再生への歩み～市民とメディアはどう関わったのか～」  
20年にわたり「泳げる中海」をスローガンに市民を中心とした中海の環境改善活動を追いつけたドキュメンタリー番組です。中海テレビ放送は2001年からテレビ番組「中海物語」を継続して制作・放送し、中海について多角的に報道する一方で、「中海再生プロジェクト」を主導。地域の課題に市民とともに取り組む活動が高く評価されました。

「中海再生への歩み」



「ながさき原爆記録全集」



◆「ながさき原爆記録全集 第56回 特別版」

日本の3大原爆フィルムといわれる「海兵隊フィルム」、「戦略爆撃調査団フィルム」、映画「広島長崎における原子爆弾の影響」の全カットを解説付きで紹介する番組。2015年より継続しており、2017年には第54回ギャラクシー賞報道活動部門優秀賞、第43回日本ケーブルテレビ大賞番組アワードでグランプリ総務大臣賞を受賞しています。

<本件に関するお問合せ先>

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 担当：原、中田（コンテンツ部）

TEL：03-3566-8200 / E-mail：jcta\_contents-lab@catv.or.jp